

電話機の概要

Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

基本的なコール処理のほかに、Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G では、コール処理機能を拡張する特殊（詳細）なテレフォニー機能をサポートしています。設定に応じて、次の機能をサポートします。

- ネットワーク データ、XML アプリケーション、および Web ベースのサービスへのアクセス
- ユーザ オプション Web ページからの電話機の機能およびサービスのオンライン カスタマイズ

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアを特定するには、次の図を参照してください。



91031

項目	説明	参照先または問い合わせ先
1	電話スクリーン	電話メニューおよびコール アクティビティ（発信者 ID、通話時間、コールの状態など）を表示します。 アプリケーションメニューへのアクセス (P.14) 、 機能の Availability について (P.15)
2	Cisco Unified IP Phone シリーズ	Cisco Unified IP Phone のモデル シリーズを示します。
3	ソフトキー ボタン	電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。 ソフトキーの定義 (P.i)

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
4	ナビゲーション ボタン 	メニュー項目のスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックの場合、ユーザの短縮ダイヤルを表示します。	アプリケーションメニューへのアクセス (P.14) 、 短縮ダイヤル (P.33)
5	アプリケーション メニュー ボタン 	表示されるアプリケーションメニューにより、ボイスメッセージシステム、履歴とディレクトリ、各種設定、サービス、およびヘルプにアクセスできます。	アプリケーションメニューへのアクセス (P.14)
6	保留ボタン 	アクティブなコールの保留、保留したコールの復帰、アクティブなコールと保留したコールの切り替えを行います。	コールの保留と復帰 (P.22)
7	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	基本的なコール処理 (P.16)
8	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカ、および呼出音の音量を制御します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用方法 (P.48)
9	ライトストリップ付きの ハンドセット	ハンドセットのライトストリップは、着信コールまたは新しいボイスメッセージがあることを示します。	ボイスメッセージへのアクセス (P.64)
10	フットスタンド	デスクやテーブルの上で、電話機の角度を使いやすいように調整できます。	—

回線とコールの違いについて

回線とコールを混同しないように、次の説明を参照してください。

- 回線：各回線は、他者が自分へのコールに使用できる電話番号（または内線番号）にそれぞれ対応しています。電話機では、1つの回線をサポートできます。
- コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。電話機はデフォルトで最大 6 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールは自動的に保留状態になります。

回線およびコールのアイコンについて

電話機には、コールおよび回線の状態（オンフック、保留中、呼び出し中、接続中など）の判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	コールまたは回線の状態	説明
	オンフック回線	この回線のコールアクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号をダイヤル中、または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	回線でコールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	このコールが保留されています。P.22の「コールの保留と復帰」を参照してください。
	リモートで使用中	共有回線の別の電話機に、接続コールがあります。P.39の「共有回線について」を参照してください。
	コールの復帰	保留コールが電話機に復帰しています。P.22の「コールの保留と復帰」を参照してください。
	認証されたコール	P.42の「安全なコールの送受信」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.42の「安全なコールの送受信」を参照してください。

アプリケーションメニューへのアクセス

電話機能にアクセスするには、アプリケーションメニューを使用します。

目的	操作
アプリケーションメニューにアクセスする	 を押して、アプリケーションのリスト ([メッセージ]、[ディレクトリ]、[設定]、[サービス]、および [ヘルプ]) を表示します。
リストまたはメニューをスクロールする	 を押します。
メニュー項目を選択する	 を押してメニュー項目を強調表示し、 [選択] を選択します。 または、メニュー項目の番号に対応するキーパッドの数字を押すこともできます。
メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了] を押します。このとき、メニューの最上位レベルで [終了] を押すと、メニューが閉じます。
メニューを閉じる (そしてアプリケーションメニューに戻る)	[終了] を1回以上、メニューが閉じるまで押すか、または  を押します。
アプリケーションメニューを終了する	 または [終了] を押します。



ヒント

 を押すと LED は緑色に変わり、アプリケーションメニューを使用している間は点灯しています。 または **[終了]** を押さずにアプリケーションの操作を終了する場合 (たとえば、新しいコールに回答する場合)、電話スクリーンが変わる場合がありますが、 ボタンは緑色のままです。もう一度  を押すと、使用していたアプリケーションが中断した時点から再開します。

電話機のヘルプ システムへのアクセス

Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G には、包括的なオンライン ヘルプ システムが用意されています。電話機のヘルプを表示するには、 を押して、[ヘルプ] を選択します。

機能のアベイラビリティについて

電話機システムの設定によっては、この電話ガイドに記載されている機能の一部がお使いの電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについては、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

SIP と SCCP の違いについて

電話機は、Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Call Control Protocol (SCCP) のどちらかのシグナリングプロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。

電話機の機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものかを示します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報] > [コール制御プロトコル] を選択します。